

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センター『ばんばん』		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 27日		～ 令和 7年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 27日		～ 令和 7年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の対応が親切で、相談しやすい 「いつも相談に乗っていただき助かっています」 「先生方からのアドバイスがとても参考になる」	日々の業務の中で職員ミーティングを実施し、保護者からの相談や意見への対応方針を共有している。 コミュニケーションスキル向上のための研修等への参加を行っている。	<職員の対応力向上> 既に親切で相談しやすいと評価されているが、より専門的な対応力を高めるために ケーススタディ研修 や 社内研修を実施する。 保護者対応スキルをさらに磨くため、研修の実施を検討する。
2	子どもが楽しく通えている 「子どもが楽しんで通えている事が何よりの証拠」 「子どもが毎週楽しく通っていて、先生方が丁寧に関わってくださっている」	子どもの興味や成長に応じた環境設定やプログラムを定期的に見直している。 季節のイベントや活動を取り入れ、楽しみながら学べる環境を整えている。	<子どもが楽しく通う環境の強化> 既存の楽しい環境をさらに向上させるため、新しい玩具や教材の導入を定期的に行う。 子どもがさらに意欲的に取り組めるよう、個々の興味に応じたプログラム開発を強化する。
3	支援が多角的で丁寧 「子どもの心に寄り添うだけでなく、保護者への助言や報告などしっかりしている」 「所属されている先生全員が子ども本人のことを第一に考えてくださっている」	個別支援計画を保護者と相談しながら作成し、個々の特性に応じた対応をしている。 外部の専門家(言語聴覚士・作業療法士等)との連携を強化し、必要に応じて専門的な支援を提供している。	<支援の多角化と個別最適化> 現在の丁寧な支援をさらに充実させるため、多様な専門家(心理士・言語聴覚士など)との連携強化を図る。 保護者との情報共有を密にするため、個別の面談や相談会等を検討する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<設備や環境の充実不足> 「教室が狭い」「設備が古い」といった声が散見される。 教材や遊具の充実に対する期待が高い。	物理的なスペース不足や、老朽化した設備が快適な環境づくりを妨げている可能性がある。 教材や遊具の不足が子どもの成長や学びの機会を制限している可能性がある。	教室の広さや環境調整、教材、遊具などのさらなる充実が望まれる。
2	<支援プログラムの柔軟性> 一部の保護者から「個別対応がもう少し柔軟であれば助かる」との意見があった。 子どもの特性に合わせた支援の工夫が求められる。	子どもの特性に合わせた個別対応が不足している可能性がある。 個別対応や活動内容の調整が難しいことが課題となっている。	子どもの特性に応じた柔軟な対応が求められる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども発達支援センター『ばんばん』

公表日 令和 7年 3月 3日

40
件

28 利用児童数 令和 7年 3月 3日

回収数 28

	チェック項目	6	どちらとも いえない		わからない	ご意見/ご感想	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	3	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・雰囲気も明るく清潔で安心して子供も過ごせていると思う ・省スペースの建物でとても工夫はされていると思いますが、もう少し広い物件であれば大人も子供も過ごしやすいのではないかと感じます。 ・個別療育、自由に遊ぶ部屋、集団療育の部屋、等等、仕切りで区切りがあるので子供も集中できています。 ・もう少し広い施設だとうれしい。 ・清潔感のある空間で、道具やおもちゃが整理整頓されており、子供はリラックスして気持ち良く過ごせています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を構造化することにより、お子さまたちがリラックスして過ごせる環境づくりを大切にしております。 また、施設の広さに関するご意見については限られたスペースの中で、お子さまが過ごしやすくなるよう工夫を重ねておりますが、より快適な環境を提供できるよう、今後の運営の参考とさせていただきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の人数に対して手厚いと思う。 	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・お部屋の中は整備されていていいと思いますが、階段が怖いです ・入り口付近が狭く階段もある為、送迎が重なる危険を感じる。 ・階段が急なことと上がった先のスペースが狭く、他の親御さんと鉢合わせになったとき事故等の怖さを感じる。 ・活動ごとにスペースが分かれていて、目で見て分かりやすい。 ・視覚的に次の日程や、帰り時間の伝達をしてくださりありがとうございます！ ・対象児童にはもちろんですが、下の子を連れて登り降りする保護者の事など考慮すると、やはり階段はリスクが高いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・階段や送迎時の安全面について、多くの方からご不安の声をいただきました。現状の施設では限られたスペースの中で安全対策を行っておりますが、いただいたご意見を真摯に受け止め、今後の安全対策の強化を検討いたします。具体的には、以下のような対策を考えております。 ・階段の昇降時により注意を促せるよう、目立つ掲示物を設置する ・送迎が重なる時間帯には、安全に配慮したご案内を行う ・階段の利用がより安心できるよう、補助的な設備の設置を検討する
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅のトイレは嫌がって入らないが、ばんばんさんのトイレは喜んで行ってるようなので子供が行きたくなるトイレ環境にしてくれてるんだと思います。 	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの困難な状況に応じて毎回色んな事を試して頂き、トライアンドエラーを繰り返して、本人に一番必要な支援は何かと探ってくれ本当にありがたいです。 ・自分以上に子供のことをよく見て頂いていて、沢山気づきを頂いています。 ・我が子の苦手な部分に配慮していただき、得意なところを伸ばそうとしてくれています。 ・集団療育の中でも子供の特性に応じた配慮をしてもらっている。 	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	2	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・親が子供に頑張ってもらいたい事を細かく聞き取り、支援計画に反映して頂いています。親自身が子供に対する疑問が曖昧な時も、上手く汲み取って、より良い解決策を積極的に提案して頂けるので非常に心強いです。 ・子の特性や困りごとに合わせたプログラムで、1つ1つ丁寧に積み重ねた支援を行っていただきありがとうございます！私では気づかない様な事にも気付き寄り添って対応してくださって本当に先生には頭が下がります。 	

	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	1	0	2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	1	0	1	・子供が苦手な課題を、どうやったらできるか等、職員さんが考えて支援してくれています。たとえば、積み木の模範をする際に、職員さんの積み木を触ってしまうので、子供と職員さんの間にクリアファイルおくと手が出ず、模倣できる。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1	0	0	・毎月、リトミックの内容が変わっている ・集団療育も月ごとにねらいに合わせた楽そうな課題になっている。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	4	6	・園訪問や担当者会議などで密に連絡をとっていたいています	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	2	0	5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	1	0	1	・動画なども用いて様子を丁寧に伝えて頂いています ・毎回、丁寧なフィードバックで子供の様子を教えてくれます ・園訪問を通して子供の様子をさらに見てもらってありがたい。 ・いつも温かく迎えてくださるので、日常でのこどもの様子も気軽にお伝えできたり相談できるので助かります！	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	2	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	1	0	0	・親の気持ちにも寄り添っていただき安心する。 ・些細な事でも、しっかりと傾聴し共感して下さるので相談して良かったといつも感じます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	0	4	10	・私は父母の会を希望していないので、交流会がなくてよかったです。 ・通所したばかりなので、まだ把握できていません。もし、保護者向けのイベントがあれば参加したいと思います。	・定期的に茶話会や保護者向け勉強会などを開催しております。2025年度も定期的な開催を企画し、保護者様同士の交流の場を提供できたらと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	0	0	1	・面談希望記入欄があるので頼みやすい。	
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	0	・毎回フィードバックで様子を詳しく知ることができたり、言うことができる。		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1	0	4		・引き続き、ホームページにて事業所評価アンケートなどの結果を公開していきます。 ・また、Instagramやリタリコ発達ナビを中心にSNSに当事業所の様子などもアップしていく予定となっております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	2	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	2	1	10		・定期的に避難練習や安全衛生についての社内研修を実施しております。 ・各種マニュアルについては作成しており、保護者様閲覧用に療育室入口の書籍棚にて管理させて頂いております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	2	0	15		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	1	0	9		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	0	9		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27	0	0	1	・通所した際に職員さんの顔を見てニコッとする姿を見て安心して通えてると思いました。 ・先生方が丁寧に話を聞いて寄り添って下さるので、いつもご機嫌で通所しています。 ・通いはじめてから一度も行きたくないと言った日はなく、毎週通うのを本当に楽しみにしています。先生方のサポートもあってお友達とも楽しく過ごす事ができて嬉しく思います！	・この度はアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。温かいお言葉をたくさん頂戴し、職員一同、大変嬉しく思っております。 お子さまが笑顔で通所し楽しみにしてくださっているとのこと、保護者様にも安心して過ごせている様子が伝わっていること、お友達との関わりが楽しい時間になっているとのことなど、職員一同にとっても大きな励みになります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	2	0	1	・子ども園は行かないけどばんぼんは行くといつも言っています。 ・朝、予定を伝えると嬉しそうな顔をする。	これからも、お子さま一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、安心して過ごせる環境づくりを大切に、大切なお子さまたちが、よりよく成長できるよう、丁寧なサポートを続けてまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1	0	0	・いつも丁寧に子供の様子や過ごし方を教えてくれます。動画を見せてくださるのもありがたいです。 ・集団も個別も子供に合わせた対応を考えてくださり、参考になる。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名

こども発達支援センター『ばんばん』

公表日 令和 7年 3月 3日

	チェック項目	40	いいえ	28	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・写真や絵カードで、場所の提示をしたり、ひとつのエリアで複数の活動をしないようにしている。パーテーションを利用し、活動に集中しやすいようにしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・休憩エリアを設置し、子どもがいつでも利用できるよう示している。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	・朝礼、昼礼、業務後に振り返りと改善を相談している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・普段から、改善点などの提案を伝えやすい関係性作りに努めている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	・今年度末から、訪問先園からの評価を行っている。	・外部評価の導入を検討し、継続的な改善を図っていく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・研修の情報を、全職員で共有しなるべく複数人で参加するようにしている。 ・研修は豊富に行けるがその分休みが無くなってしまっているのでそれは少し改善していきたい。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	・書籍から印刷して、個別プログラムのファイルに挟み、動画を撮影して支援の統一と共通理解を確認しながら、支援を進めている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・今後、特性シートを用いて行動の理解を職員間で情報共有していく。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	・相談員につなげたり、園訪問や他事業所、医療との連携を積極的に行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・2事業所合同で集団プログラムを立案し、多くの職員の案から最適なプログラムを立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・利用している子どもの特性や、状況に合わせてプログラムやその進め方を変更している。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・日報をもとに、振り返りやその日の担当、対応について決定したことを遂行している。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・次回の、事前対応と事後対応を相談の上、決めるようにしている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0			
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0			
	関	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
		25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0			
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0			
		(28～30は、センターのみ回答)					

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3	・こども支援部会には参加している。	・児童発達支援センターやその他の外部機関と連携を図り、必要に応じて助言を受ける機会を設けていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	・事業所を利用する児童、特に未就園児が地域の中で園や他の子どもとの交流や活動を共にする機会の提供は無い。 ・育児イベントを企画したが、開催まで至らなかった。	・地域で過ごすお父さま同士の関わりの場を提供できるようなイベントの企画を検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・療育の動画を見る機会を増やし、状況や支援の方法を分かりやすく伝えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・保護者の茶話会を開催している。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0		・令和7年度もきょうだい児も含めた保護者会やイベントなどの企画を検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1		・引き続き、定期的にSNS等を活用して、発信していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・文字や絵を書いて伝えたり、意志を確認したりして子どもと意思疎通している。動画や教材を見せて、保護者に情報を伝達している。	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	・無料体験会の曜日を設定し、地域に呼びかけをしている。	・地域と関わりながら、地域の中で成長する事業所を目指し、今後の事業所運営を検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センター『ぼんぼん』		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月25日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	園での様子をわかりやすく丁寧に伝えてくれる	・ご家族への訪問支援の報告をする際には、イラストや写真を添付し、イメージがしやすいように心掛けています。	・様子の変化や訪問支援をすることでの効果検証をより具体的にできる方法を検討していきます。
2	園や学校の先生に専門的で多角的な視点や支援方法を提案することができる	・職員の外部研修の参加 ・訪問支援の事例検討を法人内の別の訪問支援員と検討していく	現在は訪問支援員を実施している職員と児童発達管理責任者での事例検討をしていましたが、今後は児童発達支援事業に携わる職員にも参画をしていただきより多角的な検討をしていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問支援の頻度が希望より少ない。	児童発達支援と一体的な運営をしていることが強みではありますが、その分訪問支援員が直接療育にも携わる分、全ての希望通りに訪問ができていない。	訪問支援のニーズが広がっていることから、職員の増員・強化を目指していきたい。
2	・訪問先施設に対して理解や支援方法のセミナーができていない。	訪問支援をする中で様々な希望を聞かせていただいています。セミナーについては検討はしていますが、訪問支援以外でどこまでできるかまだ決まっていない状況です。	・園ごとに巡回訪問をしていただいている医療機関と連携する。 ・岡山市発達障害者支援センター(ひかりんく)と連携をする。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	こども発達支援センター『ぼんぼん』
------	-------------------

公表日 令和7年 3月 10日

利用児童数

28

令和7年 2月 25日

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	12	0	0	3		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	15	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	15	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	12	3	0	0		中々全ての方のご希望通りに訪問することができていないのが現状です。ニーズに応えられる人員配置を進めていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	13	2	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	0	0	0	子どもの事をよく理解してくれて訪問に いただいています。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	12	0	0	3	訪問に行っていただいてから、担任の先生が子どもの様子を前より教えてくれるようになりました。	
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	4		ガイドラインを基に支援計画は作成していますが、説明の際にはその話をしていませんでした。今後の説明の仕方について改善していきます。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	12	0	0	3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	3		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	13	2	0	0		茶話会や保護者向けセミナーを実施しました。今後も開催を予定しています。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	15	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	0	子どものことをよく理解してくれています。	
	18 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	0		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0	会議に出席していただき、園での様子を詳しく伝えてくれました。		

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	12	0	0	3		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	15	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	0	0	5		・訪問支援での活動報告は外部との守秘義務の兼ね合いから、ご家族のみとしています。評価についてはホームページにて公開をしています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	13	0	0	2		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	2		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	15	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

こども発達支援センター『ばんばん』

公表日

令和7年 3月 10日

利用児童数

28名

令和7年 2月 25日 回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	18	2	0	・相談をした際には具体的で専門的なアドバイスをいただいています。他の職員にも知ってほしいことも多いので職員研修などをしてもらってもいいかもと思っています。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	20	0	0	・専門性が高いと思います。 ・ポジティブな視点を持っていて、今までは難しいと感じていたことの捉え方が変わりました。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	20	0	0	・質問や相談をした時にはわかりやすく答えてくれます。 ・他の子の相談をしても快く話を聞いてくれます。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	15	3	2	・そういう見方や考え方があったか気づかされることが多いです。ただそれが全て園の中でできるかという難しいこともあります。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	20	0	0		
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・いつもありがとうございます。来ていただき話を聞いてもらえるだけでも助かっています。 ・発達障がいのある子について職員向けの研修はしてもらえないか。 ・もう少し訪問にきてほしい ・わかりやすいアドバイスをいつもありがとうございます。 ・園と保護者との伝達に介入して下さり、伝え・捉え違いが改善されました。 ・行事に向けての準備や練習の仕方などなるほどと思える助言をいただきました。 					<ul style="list-style-type: none"> ・特性理解に向けたセミナーについては訪問支援員の方ですか、外部機関と共同して取り組んでいくか検討をしています。明確な改善がしなくても、まずは行動や特性の理解をいただくことで園での生活が良くなっていくと考えています。 ・訪問頻度については、ニーズに対してそれに応えられるだけの職員配置ができていません。訪問支援員が増員できるよう人材育成を進めているのでもう少しお待ちください。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達支援センター『ばんばん』		公表日		令和7年 3月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	0			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	2	0			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	2	0			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	1	1	保護者や訪問先の評価については今年度より始めていま す。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	2	0			
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	2	0			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	0			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2	0			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0	今後は特性の理解シートを活用し、環境が違って共通 していることや起きやすい困り感を配慮点の共有につい て具体的な改善をしていきます。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	2	0			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2	0			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	2	0			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	2	0			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	2	0				

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0	訪問支援と児童発達支援を一体的に運営をしているので、移行時には両方の様子について共有をしています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	2	職員の外部研修は積極的にしていますが、外部の専門機関からのアドバイスを受ける機会を設けることができませんでした。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	0		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	0	児童発達支援事業と一体して取り組んでいます。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	0		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	0		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0		
訪問先	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	0		

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0		